



第 4 号
 平成 4 年 8 月 1 日発行
 発行 岡山白陵会
 〒709-7
 岡山県赤磐郡熊山町勢力588
 TEL. 08699-5-1255

暑さ日毎に厳しさを増すこのごろ、同窓生の皆様如何お過ごしでしょうか。私は岡山大学大学院を修了後、愛媛県東予市の公立周桑病院に内科医として勤務しています。霊峰石鎚の麓、人口約三万の地方都市の中核病院で平均二十五名の入院患者と月一五〇名の外来患者の主治医として診療に従事しています。医師免許取得後七年目の青年医師として臨床に必要な知識、技術の修得に励んでいるといったところです。医学の進歩に伴い器官別診療科を標ぼうする病院が増えていますが、当院は内科医が五名で内科医全般を対象とせざるを得ないため、必要とされる技術も多岐にわたります。胃・十二指腸レントゲン、大腸レントゲン、腹部超音波、心臓超音波、胃・十二指腸内視鏡、



副会長 2 回生
 川畑 秀俊

伊予より

大腸内視鏡、気管支内視鏡をはじめとして胸腔穿刺術、腹腔穿刺術、腰椎穿刺術、骨髄穿刺術、心囊穿刺術、内視鏡的逆行性胆管膵管造影法、経皮経肝胆管造影法、血管造影法など、これらが一応出来るようになるには更に四、五年はかかりそうです。

プライベートとしては平成二年一月に結婚し、平成三年九月に長女が生まれました。休日にはゴルフに行ったり、二輪車で山の中を走り回ったりしています。こちらは自然が豊富で熊山の頃をよく思い出します。

愛媛においでの際は御一報ください。皆様方との再会を楽しみにしております。遠き伊予の地より同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

敬具

追伸

岡山大学医・歯学部在籍者(教室または学部)が十九名を数え、十回生の藤原一夫君が岡山白陵会としてまとめてくださいました。また一回生の平資正先輩は内科医として和氣に戻っています。ご報告まで。

「母校は元気にしてますか？」



岡山白陵高校卒業生の皆さん、お待たせしました。

同窓会報第四号の発行です。今回は本校第一期卒業生である、私、大西 修が母校を訪ね、昨年、校長に赴任された田野 勝彦先生にお話をお伺いしました。

先生と生徒が固いスクラム

大西 田野先生、校長在任一年を終え

られたわけですが、岡山白陵の感想はいかがですか？

田野

そうですね。まず、一番に驚いたのは先生方が非常に熱心に生徒の指導をしていることです。

成績の良い生徒だけでなく、むしろ悪い生徒に対しての面倒見が良い。『滅私奉公』じゃないかと思えるくらいでしたよ。これで成績が上がらなかったら先生

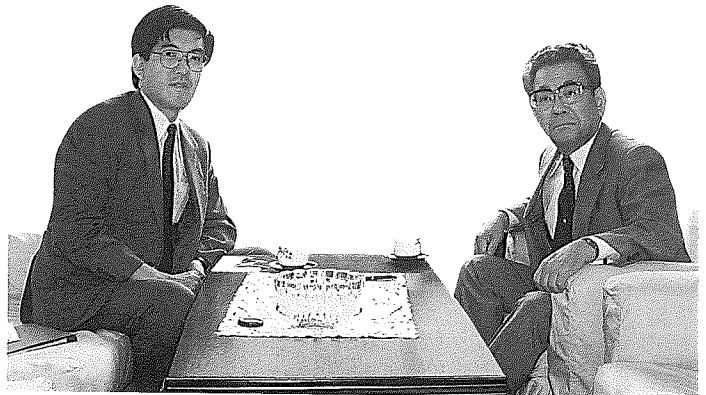
の責任ではなくて生徒の責任です（笑い）。

それから、生徒が素直で活気があります。私は高一の英語の授業を受け持っている関係でよく生徒と面談をしますが「本校には活気を感じる」との答えが返ってくる。ですから、教師と生徒とががっちりスクラムを組んでいる理想的な姿になっているな、と感じました。

大西

欲を言えば特に男子生徒にもう少しハングリー精神とか野性味があってもいいですね。言われたことはキチンとするいわゆる「良い子」が多い気がします。

要領の良い生徒が多いわけですね。それは本校に限らず最近の傾向でしょう。でも、先生方の面倒見が良いのはこの学校の伝統ではないですか？私なんかはあまり成績が良い方ではありませんでしたから、先生方には迷惑をかけた方ですよ（笑い）。

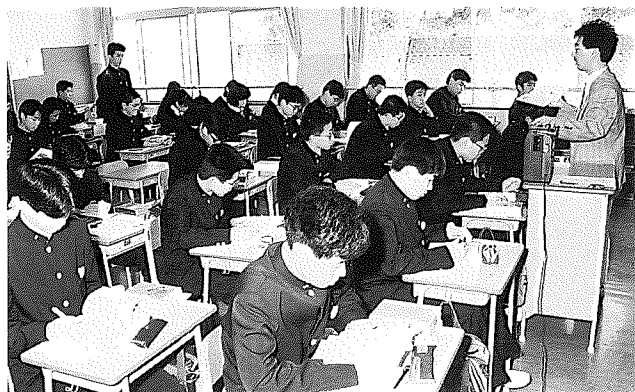




田野 勝彦
兵庫県立湊川高校校長、同夢野台高校校長、同加古川東高校校長等を歴任後、平成3年4月岡山白陵高校校長に就任

田野 最近の進学率はいかがですか？
進学成績は年々上昇しています。特に今年の春は全国で受験生がピークの年に関わらず大変良い成績でした。国公立の合格率は八五%でした。特に目立ったのは医学部の合格者が二八人と前年の二倍以上になったことです。また、早慶、関関同立といった有名私大にもそれぞれ昨年の二倍から四倍もの合格者を出しました。

大西 OBとして頼もしい限りですね。クラブ活動は盛んですか？
現在、運動部、文化部ともそれ



それ十の部活動があります。中学で三分の二、高校では半数の生徒が加入しています。これは進学校としては高い加入率です。特に柔道部の成績が良いですね。

米国姉妹校と国際交流

大西 他にトピックスのようなことはありませんか？

田野 前回、前々回の同窓会報でも紹介しましたが二年前にアメリカ



のニュージャージー州にある全米有数の進学校であるドワイト・イングルウッドスクールと姉妹提携を結んで生徒の交換を始めました。異国での体験学習は文化交流、国際化に大変役立ちます。本校からも毎年五名の生徒を先方へ派遣していますが希望者は大変増えています。

大西 それは大変画期的なことですね。ところで、私は本校の一期生なのですが、昔も今も変わらない点、変わった点といったらどんなことでしょうか？

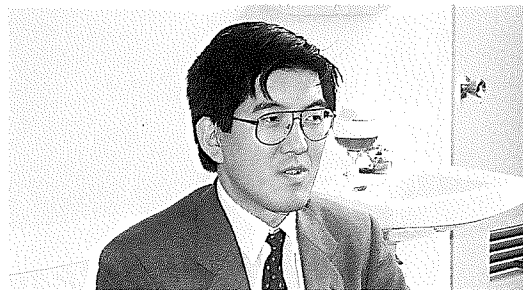
田野 少数精鋭主義で勉学に励む学校というところは全く変わっていません。変わった点と言えば、生活指導がやや柔軟になりました。男子生徒は長髪になりましたし……。

大西 私は全校生徒の前でバリカンで頭を刈られたことがあります。今の生徒達には信じられないでしょうね（笑）。そつえば、

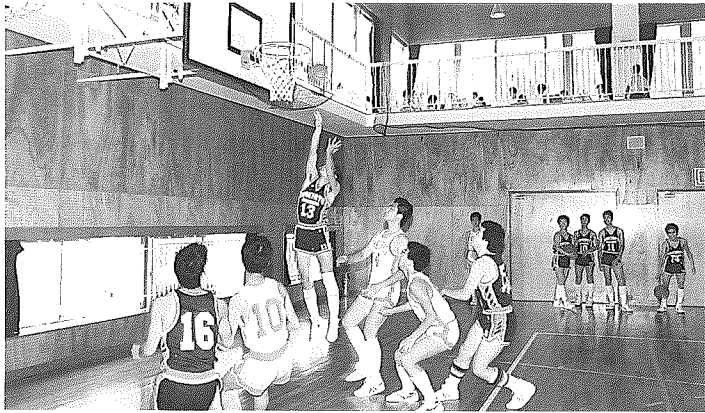
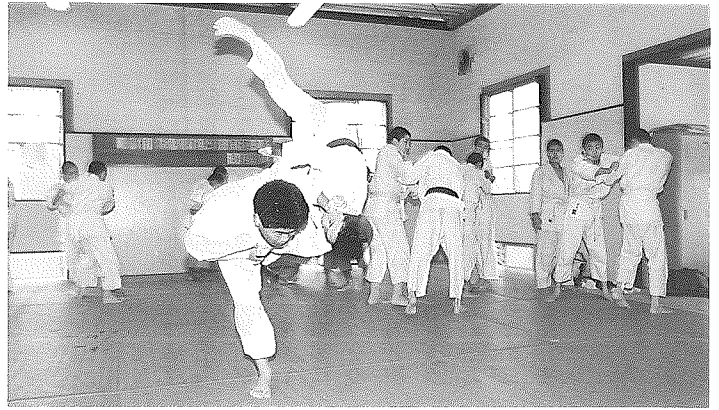
最近、学校五日制が話題になっていますが、本校ではどのような対応を考えておられるのですか？

田野 学校五日制は、公立では今年九月から試行される予定ですが、本校は導入を考えていません。それは本校が進学校であること、寮生が約半数いることを考えると導入は難しい。先生方は既に週休二日制になっていますしね。他の私立進学校もほとんど実施しないと聞いています。

京都大学名誉教授の会田雄次先生は「国民の5%は研究者などでほとんど休めない人達だ。」と



大西 修
昭和54年岡山白陵高校卒業。
現在同校同窓会副会長。



おっしゃられています。本校はその5%の人物を育てているんですよ。まあ、県教委にはたびたび叱られるかもしれませんが、できるだけ粘りたいと思っています(笑い)。

大西

本校は今年で創立十六年ですね。二十周年ももうすぐなのですが、OBから見て少し残念に思うことがあります。それは、未だに

「岡山白陵は男子校ですか？」とか「全寮制ですか？」などと聞かれることです。何処にあるのかさえ、あまり知られていないです。受験生の子を持つ

親などはこのような誤解はないと思います。もう少しPRをされてもよいと思ますが……。

田野

これはありがたい忠告だ。私達も岡山県下はもちろん、県外でも盛んに説明会は実施しているんですがね……。我々も努力しますが、卒業生の皆さんも機会があれば本校をしっかりPRしてください。

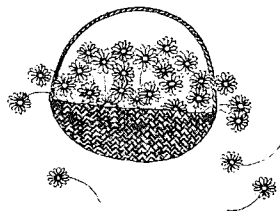
「OBの講演会を催したい」

大西

卒業生や同窓会に何かご希望はありませんか？

田野

卒業生の皆さんには、やはり社会で大活躍してもらいたいと願っ



ています。後輩の良い刺激になりますからね。本校では年に一度、著名な方をお招きして講演会を開催していますが、そのう



女子生徒が多いのが目立つ。全校生徒の26%を占めている。



校舎の正面にある学校創設者、故三木学園長の胸像

卒業生に講演をしてもらえばとも思っています。同窓会についてはまだメンバーが若いので組織がちよっと弱いような気がします。積極性がやや不足していますね。高砂の運営の仕方などを勉強されてはどうでしょうか？それから、盆と正月に同級生が集まる機会を頻繁に持ってほしいですね。卒

田野

本校の進学成績のアップを図る

大西

今日はお忙しいところありがとうございます。これからも頑張ってください。

業生が全国に散らばっていて難しいかもしれませんが、それだけにきつと有意義になると思います。

大西

そうですね。私も卒業以来、会っていない同級生が大勢います。たまにはみんなで顔を合わせるのもいいですね。最後にこれらの抱負をお聞かせ下さい。

大西

そうですね。本校は予備校ではないので、良識と品性を備えた人間形成を目指したいですね。

大西

追いかけてほしいですね。でも、勉強だけできる生徒を育てる気はありません。



卒業生諸君にあれこれと



松原 猛

○樹々の緑滴る庭の隅にして菖蒲花咲く水無月十日

同窓会の皆さんお元気ですか。若きと三木省吾先生直伝の叩き棒精神で頑張っておられることと存じます。私は岡山白陵校を退職して約十年になりますが今も記念に持ち帰ったこの棒と先生の尊影を書齋に飾り座右の銘にしております。

この叩き棒こそ生徒諸君に、また父母達にも恐々の響を持った権威で、反面、生徒と父母一体の心をも培ってくれました。そして、卒業後も松原学級では「父母達の同窓会」を持つとの提案があり、赤穂を初めに、姫路・岡山・神戸・倉敷と地区の世話係が中心になり運営して、その第十回をこの九月に赤穂市で催す予定です。○十とせ経ても会へば懐しくよくこそ

ぞ卒業せしな話題ひとすじ

岡山白陵中学校の第一回生として入学した生徒たちは開拓者の宿命を背負い、よく頑張りました。一諸に入学された高校の第一期生諸君も、より鍛えられ頑張りました。期間が三ケ年と短いからです。卒業生名簿に見る成績の足跡は美事その事を物語っております。

○雲雀啼く声を聞きつつ堤防を隊伍とのえ登校する第一回生は

長閑かで風流な情景のようですが、私立学校とその生徒に対する偏見のあったことから、工事中の場を通学路として使用する許可をお願いした当時が偲ばれます。現在の躍進した岡山白陵校の存在感と較べ否かな想いがします。

先日赤穂市民病院で竹田さんに声を

掛けられました。京大医学部を卒業し国家試験にもパスし、大学院へ進むのだ語っておられました。岡正臣君は東大卒業後防衛庁総務課に任官し、いま派遣留学生として米国に研鑽中で夏には帰国の予定ですから、その頃には「十年めに再会しよう」との約束を果すクラス会をしたいと思えます。

結婚されたカップルが同伴で訪ねて来られ記念写真を残して行かれ友達の情報などを伝えて呉れるのは嬉しい。卒業生の皆さん機会があれば先生方を訪ねてあげて下さい。

三木省吾先生は岡山白陵校に希望と夢を託し心血を注いで経営されました。先輩の卒業生諸君も先生の遺志の顕現に努められ母校と後輩のために頑張っ



岡山 松原 藤原 田野校長 中川 大森先生 小林 浮田 赤松先生 岸本 出口 藤原 味野 松原先生 松岡 木村先生 下村事務長 更谷

て下さい。

近況の一端をとりとめもなく述べました。

皆さんのご健康とご精進と併せてご多幸の程祈ります。

○蓬湯よもぎを沸かし浴して長生の金さん銀さん真似する老ら

(H・4・6・16)



岡山白陵に着任して



専任講師

徳 永 光 展

十年も前のことになる。白陵中学三年だった私は、故・三木学園長に引率されて、九州への修学旅行に出かけた。その帰途、「あそこに見えるのが岡山白陵だ」と得意気に語った園長を思い出す。岡山ではドイツ語の授業も受け持たれていると耳にした私は、「高砂ではなさらないんですか」と尋ねた。すると、「東大、京大に五十人入るようになったら、また考えよう」との返事であった。

どうして、園長は岡山でドイツ語を教えようとしたのだろう。そんな疑問が当時の私にはあった。

このたび御縁あって、岡山白陵の教員に加えていただいた。学校の雰囲気の日々肌で感じてみて思う。園長にはドイツのギムナジウムと旧制姫路高校のイメージが理想としてあったのだ。そんな学校をここ熊山に創り出そうとしたからこそあなたにドイツ語にこだわったのだ、と。

園長の逝去に接したのは、高校一年の時だった。私は名古屋山の火葬場で最

後のお顔を目のあたりにした数少ない生徒の一人である。今、胸像の前に立つと、力尽きたあの姿を自ずと思ひ起こす。彼の志を少しでも受け継ぐべく研鑽を重ねていく所存である。

生徒と向き合う時、彼らはまさに私の過去そのものなのだ、といつも感じている。生徒の多様な表情を一つ、また一つと追っていくと、私にも同じような体験があったと感銘まざるを得ない。あたかも、タイム・マシーンに乗って、過去の風景を見つめる旅に出ているかのような気持ちにさせられるのである。

生徒はやがて、私には見果てぬ世界へと羽ばたいていくに違いない。彼ら一人ひとりがかげがえのない〈夢〉を育めるよう援助することこそ私に課せられた責務だと信じ、励みたく思っている。

未筆ながら、同窓会の皆様の御多幸をお祈りするとともに、今後とも御指導賜りたくお願い申し上げます、御挨拶といたしたい。

教育実習を終えて

第十一回卒業

亀 山 真 典

私は六月一日から十三日までこの岡山白陵高校で教育実習をさせて頂きました。以下にその顛末を記したいと思っています。

私が卒業したのは平成元年四月です。私が卒業したのは平成年四月です。から、四年ぶりの母校ということになります。四年ぶりに母校の敷居をまたいだ感想は「あんまり変わってないなあ」。熊山駅も、駅から学校へ向かう道も、お世話になった先生方の顔も、何もかもが昔のままに思えました。ただ違うことといえばそれは駅から学校へ歩いていく生徒の数がとんでもなく増えていることでした。私達の頃はこんなに通学生はいなかったのに。生徒数の増加がそのまま通学生の増加につながっているのに驚きました。

私がH・Rを受け持ったのは高一で、授業では高二も担当しました。四年前から残っているのは高二・三の一部だけで、あとはみんな私の卒業後に入学してきた生徒ばかり。少しばかり時の流れを感じました。私の授業中はみんな静かに聞いてくれました。それにし

ても、私達の頃ってこんな感じだったのでしょうか？（聞くのが恐い）やはり生徒が予め気を配ってくれたからでしょうね。

授業以外にもいろいろなことをさせて頂きました。（実はこれを書いているもの志水先生に依頼されたからなのです）球技大会に出たり、生徒と一緒に大掃除をしたり、そんなことをしながら生徒といろいろな話をする事ができました。また（一部の）先生方と夜更けまで飲んだりして、高校時代には知り得なかった先生方の真の姿を垣間見ることができたような気がしました。

あつという間に二週間が過ぎ、実習最後の日に生徒から花束と色紙を頂きました。何だか恥ずかしかったけれど、非常にうれしく思いました。生徒の皆さんにこの場をかりてお礼申し上げます。また先生方には多くのご足労をおかけした上に、いろいろとご指導頂き心からお礼申し上げます。みなさん本当にありがとうございます。

社会人となつて

第九回卒業

神崎 充

岡山白陵高校を卒業してはや五年以上の歳日が流れました。現在は、進研ゼミ・進研模試の(株)福武書店に勤務しております(福武編集企画室に向中)。何ヶ月かに一度は岡山白陵高校を訪れており、最もよく出没する卒業生の一人ではないかと思えます。

今の私の仕事は、通信教育用教材の開発及び編集です。特に最近の商品のフレームを根本から企画する仕事を中心のため、「高校生」の現状を理解し、マーケットを的確につかむことが求められています。ここで改めて痛感したのが、自分達は普通では考えられない高校生活を送っていた、ということですね。これは大学時代の飲み会などで、中学・高校時代の事実を話すだけで十分なネタとなったことから、わかっていたことですが、今の仕事をするに当たって、「当時の岡山白陵のアイデンティティ」の異常なまでの強さを実感として日々味わっています。

しかし、異常な体験をしたという事実は、社会人になってからの私に大きな強みとなっています。確かに、やりたいことができなかつた、という後悔はありますが、岡山白陵時代に身につけた「強さ」は他の普通の社員を寄せつけないものがあります。特に亡き園長先生のすさまじい授業をくぐり抜けて生きてきたという自信は、どんな職場でも通用します。今私は朝七時に家を出て、帰ってくるのは十一時を過ぎることもしばしば、という毎日を送っています。膨大な仕事量も、あの頃の身を守るための膨大な予習量にはかきません。

私は、岡山白陵で身につけた「強さ」をベースに、時折当時の事実をネタとして使いながら、社会人として生き抜いています。

大学入試合格者数調

国公立大学	63年	元年	2年	3年	4年	私立大学	63年	元年	2年	3年	4年
東京大学	4	1	1	3	1	早稲田大学	9	7	12	6	14
京都大学	8	1	5	12	11	慶応義塾大学	12	4	12	9	19
大阪大学	12	3	7	7	8	上智大学	5	1	0	5	0
北海道大学	5	1	0	3	3	東京理科大学	4	2	7	9	6
東北大学	6	4	2	3	3	関西学院大学	17	16	13	8	22
名古屋大学	3	2	0	0	2	関西大学	14	11	24	17	29
九州大学	3	5	4	2	10	同志社大学	16	9	8	10	20
神戸大学	7	3	2	4	8	立命館大学	7	6	7	4	14
岡山大学	9	16	5	8	8	大阪医科大学	1	4	3	6	4
広島大学	8	4	0	5	4	関西医科大学	3	3	3	3	2
大阪市立大学	6	8	3	1	1	兵庫医科大学	3	3	3	3	1
他国公立大学	46	69	72	107	105	他の私立大学	44	49	80	102	104
国公立大学計 (内 医学部)	117 (25)	117 (14)	101 (10)	155 (13)	164 (28)	私立大学計 (内 医・歯)	135 (22)	115 (15)	172 (25)	182 (30)	235 (16)
国公立大学合格率	80.7	80.7	82.1	104.7	85.0	卒業生数	145	145	123	148	193

編集後記

今回は一味違った会報を目指して、少し工夫をこらしてみました。副会長の大西君には大変お世話になりました。次号は今回より

も更にはいい会報を目指して行きますので、どんな情報でもお寄せ下さい。最後にになりましたが、学校事務局、及び友野印刷様には、厚くお礼申し上げます。